

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.41
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp



6月定例議会報告 6/4▶6/18



6月定例議会が、6月4日(火)から18日(火)にわたって行われました。

今回、執行部から提出された議案は、市内小中学校に強化ガラスを入れる竜巻対策事業費(約4470万円)を含めた『一般会計補正予算』のほか、『子ども子育て会議条例の制定』、『廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正』、さらに市職員の給与を4.77~9.77%減額する『市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定』など15議案。審議の結果、いずれも原案の通り可決されました。

また、質疑・一般質問は10日(月)、11日(火)の2日間行われ、計11名の議員が執行部との論戦を展開しました。

市民と市政のかけ橋になりたい！

☆お気軽にお声をかけて下さい。

お友達との井戸端会議、勉強会等。2~3人でも結構です。どこへでも伺います。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！

お気づきの点がございましたら、どんな小さなことでも結構です。ぜひご意見を！

議会選出 市監査委員に就任しました

5月17日(金)に開催された臨時議会において、正副議長をはじめ議会の新しい人事が決定。中村は議会選出の市監査委員に就任しました。

監査委員在任中は、慣例によって定例議会で一般質問ができませんが、財政運営について一層の厳しさが求められる中、今までとは違った角度から真岡市政の課題をチェックしていきたいと考えております。

監査委員とは？

地方自治法に基づいて自治体に必ず置かれている機関で、首長から独立した立場で各自治体の予算の執行や財産の管理、地方公営企業の経営のほか、一般行政事務について公正で効率的な運営が確保されているかどうかを点検する。定期的な監査のほか、住民や議会からの監査請求にも対応する。

真岡市の場合、監査委員の定数は2名で、事業の経営管理や行政運営などに関して優れた識見を有する者から選出される委員と、議会から選出される委員とで構成され、いずれも市長が議会の同意を得て選任する。



塚田浩史監査委員とともに

皆様のご参加ありがとうございました！

第8回 市政報告会を開催

6月6日(木)午後7時から、大谷公民館にて『第8回 中村かずひこ市政報告会』を開催し、約30名の方々にご参加いただきました。

報告会では、中村がこの1年間に取り組んできた活動の報告、真岡市政において現在見られる課題についての説明、さらに今後実現させたい政策などについて話をした後、参加者と約1時間半にわたって意見交換を行いました。

皆様から当日いただいた貴重なご意見は、今後の議会活動の中でしっかりと活かしてまいります。本当にありがとうございました！



「見逃した！」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1~40号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。1~40号までを見逃された方は、お気軽にこちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日

10月27日(日)

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧下さい。

平成26年
4月1日から

もえるごみが有料化へ

6月定例議会において『廃棄物の処理及び清掃に関する条例』の一部改正が可決され、真岡市でも平成26年4月1日からもえるごみが有料化されることとなりました。現在、芳賀広域行政事務組合が建設しているごみ処理施設において、建設費と維持費の負担額が各市町から排出されるごみの量で決まるため、減量化を図ることが急務となっています。

真岡市では、昨年8月から各種団体の代表からなる『ごみ有料化等検討委員会』を発足させ、有料化の有無や実施時期、料金などについて話し合いが進められてきました。

指定ごみ袋は3種類

今回の条例改正によって決定した、指定ごみ袋は以下の3種類に分けられます。

種類	容量	価格(1枚あたり)
小袋	20ℓ	20円
中袋	30ℓ	30円
大袋	45ℓ	50円

指定ごみ袋は、市と契約したスーパー、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター、個人商店などで、平成26年2月から販売予定です。



ボランティアは減免対象

地域や個人の活動で、道路や公園の清掃・ごみ拾い・草むしりなどをした際は、指定ごみ袋とは異なる『ボランティア袋』が、自治会からの申請によって無料で支給されることとなります(その他の減免対象については、現在検討中です)。

他市町の減免措置については、真岡市と同様にボランティア活動のほか、生活保護世帯、紙おむつ支給対象者世帯を対象としている自治体、さらに2歳児未満(那須塩原市)や3歳児未満(鹿沼市)の子育て世帯まで対象としている自治体もありました。



参考資料(県内他市町の状況)

現在、栃木県内でもえるごみの有料化は、26市町のうち13市町で実施されています。

足利市	10ℓ(7円)	20ℓ(10円)	45ℓ(15円)
鹿沼市	10ℓ(7.5円)	20ℓ(10円)	45ℓ(30円)
矢板市	30ℓ(30円)	40ℓ(40円)	
那須塩原市	20ℓ(20円)	30ℓ(30円)	45ℓ(50円)
さくら市	30ℓ(30円)	40ℓ(40円)	
那須烏山市	30ℓ(13円)	45ℓ(20円)	
益子町	30ℓ(30円)	45ℓ(50円)	
茂木町	30ℓ(30円)	45ℓ(50円)	
市貝町	30ℓ(30円)	45ℓ(50円)	
芳賀町	30ℓ(30円)	45ℓ(50円)	
塩谷町	30ℓ(30円)	40ℓ(40円)	
高根沢町	30ℓ(30円)	40ℓ(40円)	
那須町	30ℓ(30円)	45ℓ(50円)	

※カッコ内の数字はゴミ袋1枚当たりの価格

中心市街地の活性化と起業家の育成・支援を目指して...

真岡市の新しい空き店舗対策事業がスタート!



中心市街地の空洞化が進む一方で、門前地区などを見ると空き店舗へ新たに出店する若い起業家も目立つようになりました。

こうした状況を踏まえ、真岡市では今年度、従来からあった『まちなか新設出店にぎわい創出支援事業』をさらにパワーアップさせ、中心市街地の活性化と起業家の育成・支援を促進させることとなりました。

その1 空き店舗改装費補助金

中心市街地の空き店舗に、新たに出店する際、要する改装費の一部を補助します。これは、以前から設けられていた制度ですが、対象団体などが拡充されました。

- 事業主はもちろんのこと、商店街団体、コミュニティ団体も利用可能
- 補助率30%以内、限度額60万円
(商店街団体、コミュニティ団体は補助率が75%以内にアップ)
- 空き店舗に加えて門前地区、駅前奥通りなどでは“空き住宅”も対象に

その2 創業資金保証料補助金

真岡市の商工振興資金のうち『創業資金』の融資を受けて、新たに出店する際、栃木県信用保証協会の信用保証で生じる保証料を全額補助します。

※真岡市商工振興資金『創業資金』とは?

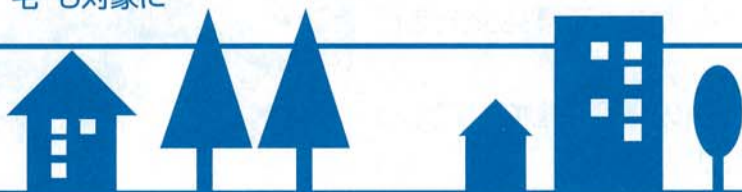
- 融資限度額 500万円
- 返済期間 5年以内
- 年率 1.5%

なお、真岡市ではこのほかに、店舗の家賃に対する補助などの追加支援制度についても現在検討中であり、今年度中には実施していく予定です。

【お問い合わせ先】

真岡市商工観光課 商業係

☎0285-83-8643



市民の皆様、市議会を傍聴してみませんか。

これまでの議員生活の中で、市民の皆様には議会傍聴をお呼びかけしたところ、『市議会って、どこでやっているの?』というご質問を度々受けてきました。そこで今回は、市議会の傍聴席までの行き方をご紹介します。

【①】市役所へ到着



本庁舎の北側から入る場合、西玄関からお入り下さい。

【②】案内カウンターの右側を…



案内カウンターを横目で見ながら、右側の自動ドアを通り抜け…

【③】収税課&国保年金課



1階の収税課(右側)と国保年金課(左側)の間の通路を進みます。

広い駐車場のある南側の通用口から入ると、さらに便利です。

【④】案内板発見!



さらに進むと、『議会傍聴席』の案内板が見えてきます。

【⑤】階段を昇ると…



案内にしたがって階段を昇ると、左手が傍聴席です。

【⑥】議場到着!



傍聴席は約50名分の座席が用意されています。

<議会に関するよくある質問>

Q:議会っていつ頃行われているの?
A:定例議会は2月・6月・9月・12月のそれぞれ1ヶ月間行われています。

Q:傍聴に行きたいけれど、何時に行けばいいの?
A:基本的に議会は、午前10時から開かれます。(傍聴の途中での入室・退室は可能です。)

Q:そもそも、何が傍聴できるの?
A:議場で行われる本会議のほか、委員会を傍聴することができます。(当然のことですが、無料で傍聴できます。)

●議会の傍聴に関するお問い合わせは
議会事務局
0285-83-8176 まで

活動報告

関東若手市議会議員の会



昨年9月から1年間、中村は『関東若手市議会議員の会』において会長を務めてきました。

この会は、関東地区1都7県で活動している若手の市議会議員(会の規約では、35歳までに初当選した45歳以下の市議会議員)によって結成している超党派の団体です。

●今年度(2012年9月～)の活動内容

今年度は「政策研究」と「議員個々のスキルアップ」を目指して、研修回数を従来の倍近くに増加しました。

- 平成24年10月16日 第1回研修会(場所:千葉県鎌ヶ谷市)
研修内容:1.プロスポーツチームと自治体の連携 2.公共施設再編計画
- 平成24年11月8日 第2回研修会(場所:埼玉県川口市)
研修内容:1.議員活動におけるICT活用法① 2.会派の運営方法
- 平成25年1月23~24日 第3回研修会(場所:茨城県つくば市、取手市)
研修内容:1.国際戦略総合特区、モビリティロボット実験区
2.臨時災害FM放送局 3.放射能除染対策 4.議会改革
- 平成25年4月18~19日 第4回研修会(場所:千葉県浦安市ほか)
研修内容:1.自治体における防災・減災対策
(林幹雄 元防災担当大臣など4名による講演)
2.被災地現地視察ほか
- 平成25年5月16~17日 第5回研修会(場所:東京都文京区)
研修内容:1.新地方公会計 2.議員活動におけるICT活用法②
3.自然エネルギー政策 4.中小企業の特許支援
- 平成25年5月30~31日 第6回研修会(場所:神奈川県鎌倉市)
研修内容:1.議員活動におけるICT活用法③ 2.インターネット選挙
3.農業活性化

この中には『公共施設再編計画』をはじめとして、その後真岡市に働きかけた取り組みも少なくなく、私自身も大変勉強になりました。

今年度は、各都県での活動が活発だったことで、研修回数が当初の計画よりも増えてしまうという“嬉しい誤算”もありました。

また、研修開催地を中心に、新しく35名の議員が入会し、総勢145名にまで会員が拡大されたことで、私達も新たな刺激を受けています。



今後の活動予定 8月8日(木)~9日(金) 関東若手市議会議員の会 総会・第7回研修会

会場: 栃木県自治会館(宇都宮市)ほか
講師: 福田富一 栃木県知事、大石剛史 国際医療福祉大学講師、
牧野彦彦 改善屋本舗CEO

2012-2013年度 関東若手市議会議員の会 役員

会長	中村 和彦(栃木・真岡市議会)	監査	福田 克之(栃木・さくら市議会)
副会長	小川 義人(千葉・印西市議会)	相談役	金子 渡(群馬・群馬県議会)
副会長	吉田 英司(埼玉・川口市議会)	相談役	水村 篤弘(埼玉・埼玉県議会)
副会長	高谷 清彦(神奈川・逗子市議会)	相談役	桐原 正仁(山梨・甲州市議会)
		顧問	中村 勝彦(山梨・甲州市議会)
東京都代表	上田由紀子(東京・文京区議会)	事務局長	小川 亘(栃木・小山市議会)
群馬県代表	高井俊一郎(群馬・高崎市議会)	事務局次長	松澤 武人(千葉・鎌ヶ谷市議会)
山梨県代表	佐藤 大輔(山梨・甲州市議会)	事務局次長	星 雅人(栃木・大田原市議会)
千葉県代表	甲斐 俊光(千葉・我孫子市議会)		
茨城県代表	佐藤 隆治(茨城・取手市議会)		
栃木県代表	湯澤 英之(栃木・鹿沼市議会)		
埼玉県代表	吉田 英司(埼玉・川口市議会)		
神奈川県代表	友田 宗也(神奈川・藤沢市議会)		



私の政治活動費

この1年間（平成24年5月1日～平成25年4月30日）にかかった私の政治活動費について皆様にご報告いたします。

項目	金額	備考
印刷広告費	1,171,212円	『中村かずひこ通信』発行費(年4回)
ホームページ更新費	140,000円	
書籍・資料購入費	75,441円	D-fileなど
研修参加費	99,200円	清溪セミナーなど
交通費	169,520円	個人視察時の交通費
食糧費	5,930円	市政報告会時の茶代など
コピー代	8,130円	
通信費	22,940円	郵送費
文具費	3,679円	封筒、ノート、ファイルなど
家屋費	360,000円	事務所家賃
光熱水費	50,236円	水道料、電気料
その他	3,465円	

合計 **2,109,753円**



皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

※詳細に知っていただくため、個人視察時の交通費なども掲載いたしました。

※なお、過去の政治活動費については『中村かずひこ通信』の1、5、9、12、17、21、25、29、33、37の各号をご参照下さい。

コラム むーあっぴ

流れを変えるきっかけに

超高齢自治体の真岡市で

私達はよく『高齢化社会』という言葉が無意識に使っているが、国連などが定義するところによれば、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)が7%以上の状態を指すのだという。ちなみに、これが14%を超えると『高齢社会』、21%を超えると『超高齢社会』という名前に変わる。

そうした意味からすると、真岡市は今大きなターニングポイントを迎えている。推計ではあるものの、真岡市の高齢化率は今年度21.5%に達する見込みであり、言わば『超高齢自治体』になるのである。

市内では、特別養護老人ホームに入所を希望しても、それが叶わない高齢者が100名を超える状況にある。そうした方々を受け入れる施設の整備は喫緊の課題である。その一方で、高齢者本人やその家族が介護を必要とせず、安心して生活できる環境を整備することも、高齢化率が今後も高まることや市の財政事情を考慮すれば、同時進行で取り組んでいかなければならない。

そんな中、6月定例議会の一般質問において、井田市長が『(仮称)まちかど保健所』を市内に整備していく考えを明らかにした。これは空き店舗などを活用して、高齢者が気軽に集まって趣味などに打ち込むとともに、専門家を配置して健康に関することを相談することもできる、そうした場所を指している。私も以前から、高齢者が元気なうちから周囲とコミュニケーションを図り、心や体の変化に対していち早く対応できる仕組みづくりを議会で訴えてきたので、今回の市長の表明は大変喜ばしいことと考えている。

これは『高齢者福祉』という1つの分野にとどまる問題ではない。ご案内のように、現在真岡市では地域の新しい公共交通として『いちごタクシー』とコミュニティバス『コットベリー号』の試験運行をしている。これが、来年度からいよいよ本格的な運行を始めることになる。

また『地域通貨』についても、今年度中に導入される予定となっている。この『地域通貨』は、ボランティアのサービスを受けた際、相手方とポイントをやりとりするもので、地域によってはポイントの一部を地元商店での買い物にも活用できるようにし、地域の中でお金を循環させるツールとしていっているところもある。

さらに、今号の中面でもご紹介したように、中心市街地の空き店舗対策においては、新規出店者や起業家を対象とした新しい支援制度が動き出す。

これら1つ1つの取り組みをつなぎ合わせてみると、高齢者の健康維持や社会参画はもちろんであるが、やり方次第では地域内での人やお金の流れも大きく変えることができるようにも思えるのである。

真岡市が『超高齢自治体』になったと聞くと、私達は眉間にしわを寄せ、とかく深刻な問題(深刻な部分があることは否定できないが)として受け止めがちであるが、その水面下では、まちづくりの流れを大きくプラスに変えていけるような、そうした取り組みも始まっているのである。

あとは、前号でも述べたように施策の『売り方、見せ方、伝え方』によるところが大きいと思われる。

中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える『中村かずひこと未来をつくる会』では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕
真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦



中村かずひこ活動目録

4月	5月	6月
2日 『ひばりの会』定例会	1~ 全国若手市議会議員の会役員会	2日 コラボまつり
3日 真岡新聞音訳作業(『ひばりの会』の活動として)	2日 研修会(於:長野県長野市)	3日 あいさつボランティア
5日 行屋川桜まつり点灯式	8日 真岡青年会議所例会(於:東京 靖国神社)	4日 6月定例議会開会
6日 大谷地区福寿会総会	10日 議員協議会	6日 市政報告会
7日 佐野市議会議員選挙応援	11日 大谷広報編集会議	8日 明治大学雄弁部OB会(於:東京 明治大学)
8日 あいさつボランティア	12日 さわかやデイホーム悠々総会	10日 質疑・一般質問1日目
真岡中学校入学式	13日 あいさつボランティア	10日 議員協議会
9日 真岡西小学校入学式	とちぎローカルネットワーク『野嵐会』	11日 質疑・一般質問2日目
10日 真岡地区遺族会役員会	研修会(於:矢板市)	サクシードカフェ(於:宇都宮市)
真岡青年会議所例会	15日 会派間協議	12日 真岡青年会議所例会
11日 宇都宮市立南図書館見学(『ひばりの会』の活動として)	宇都宮市地方財政研究会(於:宇都宮市)	13日 民生産業常任委員会
12日 とちぎローカルネットワーク『野嵐会』役員会(於:宇都宮市)	16日 関東若手市議会議員の会研修会(於:東京都文京区)	14日 真岡青年会議所人間力向上委員会
真岡青年会議所人間力向上委員会	17日 臨時議会	15日 真岡西中学校スポーツフェスティバル
13日 大谷地区婦人防犯防火クラブ総会	19日 明治大学校友会栃木県支部総会	16日 伊夜日子会奉仕作業
14日 真岡市長選挙・真岡市議会議員補欠選挙告示	20日 あいさつボランティア	足立廣文・元日光市議告別式(於:日光市)
15日 交通安全指導(高間木の交差点)	真岡市遺族会連合会総会	あいさつボランティア
小川巨・小山市議と面会	21日 『ひばりの会』定例会	18日 6月定例議会閉会
16日 『ひばりの会』総会	小川巨・小山市議と面会	議員協議会
真岡自然観察会会計監査	22日 真岡青年会議所例会	とちぎローカルネットワーク『野嵐会』
17日 真岡青年会議所創造美育勉強会	23日 関東都市監査委員会定期総会	役員会(於:鹿沼市)
18~19日 関東若手市議会議員の会研修会(於:千葉県浦安市ほか)	(於:群馬県前橋市)	22日 台若総会
20日 真岡自然観察会総会	真岡青年会議所人間力向上委員会	23日 真岡青年会議所例会
21日 大谷地区『わかば会』総会	24日 出納検査・定期監査	東日本大震災避難者との交流バスツアー
22日 あいさつボランティア	やまさわの里役員会	あいさつボランティア
議員協議会	25日 真岡市明治大学OBの集い	25日 出納検査・定期監査
25日 真岡地区戦没者慰霊祭	27日 あいさつボランティア	26日 都市計画審議会
27日 新高会さくら祭り	湯澤英之・鹿沼市議と面会(於:宇都宮市)	小川巨・小山市議と面会(於:宇都宮市)
大谷広報編集会議	28日 議員協議会	29日 コットンウェイ硬式野球倶楽部の応援
28日 SLキューロク館開館式	29~ 関東若手市議会議員の会研修会	(於:足利市)
29日 真岡青年会議所人間力向上委員会	30日 (於:神奈川県鎌倉市)	